

平成24年度
実施事業

事務事業名 有害鳥獣駆除経費

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	①新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 11 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部名 観光経済部 グループ名 農林水産グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を防止し、農林業の振興及び市民生活の維持を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	市民からの被害及び苦情相談に基づき、エゾシカ・アライグマ・キツネ・カラス・タヌキの駆除を行った。 【事業実績】 ・委託期間 4月17日～3月28日 ・駆除頭数 エゾシカ127頭、アライグマ138頭、カラス102羽、キツネ7頭、タヌキ30頭 合計404頭(羽)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	エゾシカとアライグマの被害が特に多発している状況を踏まえ、重点的に駆除を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 北海道権限委譲事務交付金	千円		228	228	228	228
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	783	1,630	2,660	2,660	2,660
事業費合計			783	1,858	2,888	2,888	2,888

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 駆除頭(羽)数	頭(羽)	目標値	200	230	350	350	350
			実績値	359	404			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
市民等からの捕獲依頼があり、捕獲頭羽数の増加から、業務委託の時間数が増加している。	実績に見合った委託料となるよう委託料の見直しを毎年度行い、捕獲数の増加や苦情、相談に適切に対応する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 有害鳥獣による農作物等の被害は、被害者自ら行うことには限界があるため、市が実施主体として行うことは妥当である。
	<input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民や農業者からの捕獲の要望があり、有害鳥獣の駆除数も増加していることから必要性の高い事業である。
	<input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 専門の団体に業務委託することにより効率的に駆除業務が行われている。
	<input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 農業者や一般市民からの有害鳥獣に関する苦情に対し、被害を最小限に食い止めるための効果的な駆除が行われている。そのため駆除頭数が増加している。
	<input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	農林業被害や生活環境被害を最小限に食い止めるには、有害鳥獣を駆除し個体数を調整する必要がある、今後も事業を継続していく必要がある。

②行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）		《Action》
維持	備考	

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）